

○富山県民会館条例施行規則

平成11年 3 月31日

富山県規則第16号

改正 平成15年 4 月30日規則第44号

平成16年 3 月31日規則第38号

平成17年 9 月30日規則第67号

平成18年 3 月31日規則第42号

平成26年 2 月28日規則第 3 号

平成28年 3 月31日規則第32号

富山県民会館条例施行規則を次のように定め、公布する。

富山県民会館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、富山県民会館条例（昭和39年富山県条例第70号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(利用の承認申請)

第2条 条例第9条第1項の規定により富山県民会館（以下「会館」という。）の施設の利用の承認を受けようとする者は、分館を見学する場合を除き、富山県民会館利用承認申請書（様式第1号）を指定管理者に提出するものとする。

2 前項の申請書は、利用日（利用しようとする日が引き続き2日以上であるときは、その初日。以下この項において同じ。）前1年から利用日前2週間までの間に提出するものとする。ただし、指定管理者が会館の利用に支障がないと認めるときは、この限りでない。

(平15規則44・平16規則38・平17規則67・平18規則42・一部改正)

(利用の変更)

第3条 条例第9条第1項の規定により会館の施設の利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）は、利用日を変更しようとするときは、ホール及び展示室を利用する場合にあっては利用日前10日までに、その他の施設を利用する場合にあっては利用日前5日までに指定管理者の承認を受けるものとする。

2 利用者は、やむを得ない理由により当該承認に係る時間を超えて利用する必要があるときは、あらかじめ指定管理者の承認を受けるものとする。

(平15規則44・平18規則42・一部改正)

(利用料金の減免)

第4条 利用料金（分館見学科に限り。次項において同じ。）に係る条例第12条に規定する知事の承認を受けて定めた基準は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例別表第1の3の表の備考に規定する者又は幼稚園の幼児の引率者が教育課程に基づく教育活動又は社会教育関係団体の教育活動として、分館を見学するとき。
- (2) 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設に入所し、又は通所している者及びこれらの引率者が分館を見学するとき。
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその付添人（当該交付を受けた者1人につき1人に限る。以下この項において同じ。）が分館を見学するとき。
- (4) 療育手帳制度について（昭和48年9月27日付け厚生省発児第156号厚生事務次官通知）に基づき療育手帳の交付を受けている者及びその付添人が分館を見学するとき。
- (5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその付添人が分館を見学するとき。
- (6) 70歳以上の者が分館を見学するとき。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、利用者間の均衡を失しない範囲内において指定管理者が適当と認めるとき。

2 前項第1号又は第2号に掲げるときの利用料金の減免は富山県民会館分館（内山邸・金岡邸）見学科減免申請書（様式第2号）を指定管理者に提出することにより、同項第3号から第5号までに掲げるときの利用料金の減免は身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の確認により、同項第6号に掲げるときの利用料金の減免は同号に該当することを証するに足りる書類の確認により、同項第7号に掲げるときの利用料金の減免は別に定めるところにより行うものとする。

（平28規則32・追加）

（利用料金の還付）

第5条 条例第13条ただし書の規定による利用料金の還付の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に掲げる額とする。

- (1) 条例第13条第1号に該当する場合 全額
- (2) 条例第13条第2号に該当する場合 次に掲げる額
 - ア ホール及び展示室にあつては、70パーセントに相当する額
 - イ その他の施設にあつては、90パーセントに相当する額

2 利用料金の還付を受けようとする者は、富山県民会館利用料金還付申請書（様式第3号）を指定管理者に提出するものとする。

（平15規則44・平16規則38・平18規則42・一部改正、平28規則32・旧第4条繰下・一部改正）

（入館の制限）

第6条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(1) 他の利用者に迷惑となる行為をするおそれがあると認められる者

(2) 施設、設備等を汚損し、又は損傷するおそれがあると認められる者

（平16規則38・旧第8条繰上、平18規則42・旧第7条繰上・一部改正、平28規則32・旧第5条繰下）

（駐車場を利用できる自動車）

第7条 本館の駐車場を利用することができる自動車は、道路交通法（昭和35年法律第105号）第3条の普通自動車（積載物又は取付物を含めて、長さ5メートル以下、幅2メートル以下、高さ2.2メートル以下のものに限る。）とする。

（平17規則67・追加、平18規則42・旧第8条繰上、平28規則32・旧第6条繰下）

（利用後の点検）

第8条 利用者は、その利用を終えたときは、直ちにその旨を指定管理者に届け出て、その点検を受けるものとする。

（平15規則44・一部改正、平16規則38・旧第9条繰上、平17規則67・旧第8条繰下、平18規則42・旧第9条繰上・一部改正、平28規則32・旧第7条繰下）

（損傷等の届出）

第9条 利用者若しくはその者の利用目的に応じて入館した者又は本館の駐車場を利用する者が会館の施設、設備等を損傷し、又は滅失したときは、当該利用者又は当該本館の駐車場を利用する者は、直ちにその旨を指定管理者に届け出て、その指示に従うものとする。

（平15規則44・一部改正、平16規則38・旧第10条繰上、平17規則67・旧第9条繰下・一部改正、平18規則42・旧第10条繰上・一部改正、平28規則32・旧第8条繰下）

（細則）

第10条 この規則に定めるもののほか、会館の管理運営に関し必要な事項は、知事が定める。

（平16規則38・旧第11条繰上、平17規則67・旧第10条繰下、平18規則42・旧第11条繰上、平28規則32・旧第9条繰下）

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

(平26規則3・旧附則・一部改正)

(利用期間の特例)

- 2 平成26年3月1日から知事が定める日までの間は、改修のため本館を利用することができない。

(知事が定める日＝平成26年告示第439号で平成27年3月15日。平成27年告示第100号で平成27年3月15日（駐車場にあっては、同月13日）に一部改正）

(平26規則3・追加)

附 則（平成15年規則第44号）

この規則は、平成15年5月1日から施行する。

附 則（平成16年規則第38号）

(施行期日)

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則による改正前のそれぞれの規則に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成17年規則第67号）

この規則は、平成17年10月1日から施行する。

ただし、第2条第1項の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成18年規則第42号）

(施行期日)

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則による改正前の富山県民会館条例施行規則に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成26年規則第3号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成28年規則第32号）

(施行期日)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(富山県民会館条例施行規則の一部改正に伴う経過措置)

2 第1条の規定による改正前の富山県民会館条例施行規則に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

様式第1号(第2条関係)

富山県民会館利用承認申請書

No. _____

指定管理者 殿

申請日 年 月 日

申請者	団体等の名称	代表者氏名
	住所	取扱者氏名

次により、富山県民会館の施設を利用したいので承認願います。

利用室名	利用年月日	利用時間	利 用 料 金		附属設備料	
			基本利用料金	超過利用料金		
	年 月 日	時 時 ～	時 時 ～ 円	時 時 ～ 円		円
	年 月 日	時 時 ～	時 時 ～ 円	時 時 ～ 円		円
	年 月 日	時 時 ～	時 時 ～ 円	時 時 ～ 円		円
利用目的(会議、行事等の名称)	入場料徴収の有無 有・無 円		小計 円 ①	小計 円 ②	小計 円 ③	
備考			総額(①+②+③)			円

様式第2号(第4条関係)

富山県民会館分館(内山邸・金岡邸)見学科減免申請書

年 月 日

指定管理者 殿

住所
団体等の名称
代表者氏名
連絡先
電話
担当者氏名

富山県民会館条例第12条の規定により次のとおり見学科の減免を受けたいので申請します。

見学する日時	年 月 日() 時 分から 時 分まで					
引率責任者	職		氏名			
見学する人員	引率者	人	小学生	人	計 人	
	一般	人	特別支援学校	人		
	高校生	人	小学校就学前の者	人		
	中学生	人	その他()	人		
見学する目的						
※減免する額	円					

備考 ※欄は、記入しないこと。

様式第3号(第5条関係)

富山県民会館利用料金還付申請書

年 月 日

指定管理者 殿

住 所 _____

団体等の名称 _____

代表者氏名 _____ 印

(電話 _____)

年 月 日付けNo. _____ で申請しました富山県民会館施設の利用については、
下記の理由により利用できませんので、前納した利用料金の全部(一部)を還付されるよう
申請いたします。

記

1 利用できない理由

2 利用を予定していた日時

年 月 日 時 分から

年 月 日 時 分まで

3 利用を予定していた室名

4 添付書類

利用料金を納付したことがわかる書類

様式第 1 号 (第 2 条関係)

(平16規則38・全改、平18規則42・一部改正)

様式第 2 号 (第 4 条関係)

(平28規則32・追加)

様式第 3 号 (第 5 条関係)

(平18規則42・一部改正、平28規則32・旧様式第 2 号繰下・一部改正)